

竹の子会の基本目標

1. 人間形成への修練
1. 地域社会への奉仕
1. 会員相互の親睦



竹の子会会報

No.575

竹の子会総務委員会

平成27年12月10日

例会（十万石ふるさとまつり）

日時：平成27年10月11日（日） 場所：大垣市青年の家 中庭



渉外委員会
副委員長
原 一翔

皆様こんにちは、大垣竹の子会第60期渉外委員会副委員長を務めさせていただきます、原一翔です。

去る平成27年10月11日（日）に大垣市青年のつどい協議会主催の第42回十万石ふるさとまつりが執り行われました。

今年は竹の子会が大神輿を担当することになりましたが、年々の会員数減少のため現役会員だけでは大神輿を担ぐことは難しい事態であったため、OB会員の皆様と、一般募集により集まっていたボランティアの皆様と共に力を合わせ、団結し大神輿に向かう形となりました。

当日は、前日の雨の影響のためか朝から天候があまりよくありませんでしたが、大神輿を担ぐ頃にはなんとか天候も安定し、無事十万石ふるさとまつりを開始することができました。

大神輿は予想以上に重く、例年の通常のものとは

比べ物にはならないほどでしたが、そのぶん大神輿を担いだ姿は壮観で、大垣駅通りで行われたパフォーマンスでは大神輿が高く上がる様はお祭りにきていた多くの大垣市民の皆様の印象に残ったのではないかと思います。また今回大神輿を担いだという経験がボランティアの皆様の一生の思い出になってくれればと思います。

こうして第42回十万石ふるさとまつりは大きな事故や怪我もなく無事に行うことができ、また大垣竹の子会の心意気を見せることができ大成功に終えることができました。もちろん今回の成功は大垣竹の子会の力だけでなく、OB会員やボランティアの皆様のご協力のおかげでもあります。

今回は外部から協力を仰ぐといった初めての試みでしたが、ボランティアの皆様と共に神輿を担ぐことによって、より人と人とのつながりの必要性を実感できた経験になりました。最後に今回ご協力をいただいたOB会員の皆様、ボランティアの皆様、また関係各所の皆様に御礼申し上げます、ありがとうございました。



十万石ふるさとまつり

日時：平成27年10月11日（日） 場所：大垣市青年の家 中庭



渉外委員会
副委員長
名和 良能

皆様こんにちは。58期入会の渉外委員会の名和良能です。

去る10月11日（日）に大垣駅通り一帯にて、「第42回十万石ふるさとまつり」が行われました。前日から、天気があやぶまれ、当日の朝は小雨が降っていましたが、決行の連絡が入りほっとしたのを思い出しました。

十万石まつりは、大垣市の1大イベントでもあり、多くの市民が楽しみにしていたことでしょう。準備をはじめていると天気も徐々に回復し、最後まで無事に行うことができました。

当日は、特別会員の皆様に、大変お忙しい中、ご参加、ご協力頂きまして、本当にありがとうございました。現役会員の皆様には、10月8日（木）、10月10日（土）の両日の夜に、常葉神社での神輿組み立て、当日の朝の神輿出しから、夜の反省会まで、1日中ご参加頂きまして、本当にありがとうございました。

私は、この度、大垣市青年つどい協議会に理事として出向し十万石ふるさとまつりでは、渉外・動員部会長を務めさせて頂きました。最初に部会長のお話を聞かされたときは、竹の子会に入会して、神輿を1回担いだことがあるだけなのに三大事業の1つの大イベントに携わる大役は無理だと思い、正直、困惑しておりました。しかし、先輩たちの後押しもあり「何とか頑張ってみよう。」と意気込み4月の合同実行委員会に参加しました。しかし、何も分からないまま、委員会に参加すると委員会の中で部会長が、「何も分からないまま委員会にのぞむのはおかしい」との厳しいご指摘があり以降、自宅で過去の資料を確認して勉強し、月一回の実行委員会前には、必ず部会長会議に参加し、実行委員会にのぞんでいました。

今回、私の任務は企業、大人、子ども神輿の窓口や、イベントの1つでもある、「ボランティアの募集」でした。近年、どこの団体も会員減少という問題がかかえており当初は、大垣まつりと同様に3C混合で一緒に担ぐという案もありました。しかし十万石ふるさとまつりでは、各団体の紹介文PR等ある為自分の団体で担ぎたいという意見が多く十万石まつりのイベントの一つである『ボランティア募集』を提案することになりました。

当日は雨の影響もあり多数の企業からの問い合わせの電話やボランティアの方の対応に追われていました。オープニングイベントの「転輪太鼓」様の演奏も好評に終わり大人、子ども、企業神輿の練り歩きはけがや事故の大きなトラブルもなく大成功に終えたのではないかと思います。

最後になりますが今回のまつりを通して一つのことを大盛況で終わられるのは陰ながら支えてくれる委員の方々や仲間の協力、苦労があつてのことだと改めて実感することができました。部長会の経験は今後の社会面においてプラスになることであり大きな自信となりました。皆様には多々至らぬ点もありご迷惑をおかけしたと思いますが十万石まつりも大盛況に終わりほっとしています。

会員の皆様にもご協力を頂き本当にありがとうございました。これからもご指導、ご鞭撻の程よろしくをお願いします。



特別会員の皆様の、十万石まつりへ 多大なるご協力に、感謝申し上げます。



第60期会長
永井 清睦

皆様こんにちは。第60期会長の永井清睦です。去る10月11日(日)に、大垣駅前通り一帯にて「第42回十万石ふるさとまつり」が行われました。天候にも恵まれ、地域の方々が多く足を運ばれた盛大なお祭りとなりました。

さて、当会は今期60期という節目の年を迎えている事に加え、大変光栄な事に、十万石ふるさとまつりにおきましても「大神輿」を担がせて頂く年に当たりました。今期、新たに7名の新入会員が仲間に加わり、総勢46名とはなったものの、前回「大神輿」を担いだ57期の会員数は58名であり、12名の不足分を賄うには到底パワーが及ばない状況でした。

そこで今回初めての試みで、特別会員の皆様そしてボランティアの皆様と一緒に大所帯で大神輿を担ぐという計画に踏み切りました。当然ながら賛否両論の意見があり、現役会員、特別会員の皆様からの厳しいご意見も頂きました。しかし、もはや物理的に限界を超えている事が明らかであるのに、あえて挑戦する必要があるのかと疑問を抱き、それよりも竹の子の熱い血が流れる者同士が年齢を超越して一致団結し、「楽しむ」ということに目を向ける方が賢明ではないかと考えました。私達が神輿を担ぐ場は、地域の方々の多く集まる伝統的な「お祭り」の場であることを忘れてはいけません。賑やかに盛大に、ここ大垣市に「大垣竹の子会」の存在をアピールするための大変貴重な機会であるのに、一切の余裕も

ない姿をお見せするのは逆に恥ずかしいですし、やはり地域の方々を楽しませるパフォーマンスをお見せするのも祭りの醍醐味であると思いました。

清水OB会長にありのままの気持ちをお伝えしたところ、快く承諾していただき、また大変お忙しい中にもかかわらず、特別会員の皆様へのお声掛け等を率先して行って頂けました事を、心より感謝申し上げます。そして、卒業されて5年以内の特別会員の皆様には、私から直接お願いさせて頂いたのですが想いを汲んでくださった先輩方が多数、お力を貸してくださいました。

お陰様をもちまして、当日は皆様のとても晴れやかで勇ましいお顔を拝見することができたように思います。「今回の竹の子さん、素晴らしかった！勢いがあってみんな楽しそうに担いでいた。」そんな言葉を多くの知人や他団体、地域の方々より頂戴しました。現役会員の皆様にとっても、記憶に残る思い出深い経験となったのではないのでしょうか。新しいことに挑戦するには、必ず不安やリスクが伴います。しかし、どこかでやってみないと成長も学習もありません。私が今回の事業を通して感じたことは、本当に会を想う純な気持ちのある者同士が集まれば、必ずひとつになれますし、良い結果へ向かうということです。皆様の多大なる御協力をおもひまして、無事に事業を終えることができましたことを改めて御礼申し上げます。

さて、60期も後半へと差し掛かりまして、このあと60周年事業と今期最大の事業が控えております。こちら皆様のお力添え無しには大変厳しい事業となってまいります。是非とも活発なご意見の提供とご協力を、心よりお願い申し上げます。





12 1 月の予定



交通遺児クリスマス会

日 時：平成27年12月 6 日（日）
場 所：大垣フォーラムホテル

例会（家族親睦会）

日 時：平成27年12月23日（水・祝）
場 所：大垣迎賓館セントローザ

芭蕉元禄イルミネーション

日 時：平成27年12月25日（金）まで
場 所：大垣公園芝生広場

大垣つどい新年互例会

日 時：平成28年 1 月 9 日（土）
場 所：未定

成人式協力

日 時：平成28年 1 月11日（月・祝）
場 所：大垣フォーラムホテル

例会（新年互例会）

日 時：平成28年 1 月21日（木）
場 所：四鳥